

墨田区立図書館

・コミュニティ会館図書室

Newsニュース



図書館電話案内サービス TEL : 3 6 1 2 - 6 0 4 8



著作権法の改正と障害者サービスについて

墨田区の図書館では、40年ほど前から本や図書館を利用するのが困難な方のために障害者サービスを実施してきました。本をそのままでは読むことのできない視覚に障害のある方や、文字が小さくて読みにくいという高齢の方のために、ボランティアの方の協力を得て本をカセットテープに録音したり、拡大写本を作成してきました。こうして作成された録音図書は320タイトルほどに、拡大写本は寄贈していただいたものも含めて770タイトルほどになります。

これまで、公立図書館が録音図書や拡大写本を製作する場合には、著作権者の許可が必要でした。しかし、2010年1月に著作権法が改正され、著作権者の許諾を得なくても製作できる施設が拡大され、公立図書館でも利用者の希望に応じて録音・拡大などの製作ができるようになりました。

また、今回の著作権法改正では「視覚による表現の認識に障害のある」人であれば誰でもそうした資料を利用できるようになりました。「視覚による表現の認識に障害のある」人の中には視覚障害者にとどまらず、ディスレクシアなどの学習障害の人や高齢者なども含まれることになりました。

もし身近にこうした資料を必要としている方がいましたら是非図書館の障害者サービスを紹介してください。

ディスレクシア（読み書き障害）

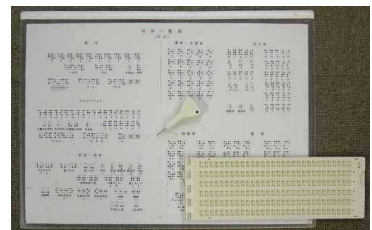
視覚に障害はないものの、文字から情報を得ることが困難な学習障害のひとつ。



デイズ（CD-ROM）図書



音訳テープ



点訳器具

【講演会】と 緑図書館資料展 11月

「半藤一利氏講演会」

講師：半藤一利氏
日時：11月19日（土） 午後2時～4時
場所：中小企業センター・サンシャインホール

写真資料展

「すみだの図書館100年展」

期間：11月12日（土）～12月4日（日）

場所：緑図書館1階、3階展示コーナー

ミニ展示 向島吾嬬町生まれの半藤一利資料展

今月の特集コーナー

館名	今月の特集コーナー
あずま図書館	一般書：「特集 半藤一利氏著作」 ヤングアダルト「Y・A」：「なにかと1番。」 児童書：「あきのほん」 窓ぎわの児童書：「ぶたさん」
緑図書館	一般書：「心を整える」 児童書：「ふーふーほかほか！」 ヤングアダルト〔Y・A〕：「1911年」
寺島図書館	児童室1：「にほんのむかしばなし」 児童室2：「楽器」
立花図書館	一般書：「芸術の祭典」 児童書：「音楽を読む」 えほんのひろば：「としょかんのひみつのおへや」
八広図書館	一般書：「家族のはなし」「旅とアート」「モバイル新・時代」 児童書：「はたらくってどんなこと？」
東駒形コミュニティ 会館図書室	一般書：「心に暖をとりましょう」 児童書：「やさしいじかん」「さむいのだいすき」
梅若橋コミュニティ 会館図書室	一般書：「イベントを楽しもう！」 児童書：「色のいろいろえほん」
横川コミュニティ 会館図書室	一般特集1：「ぐう～となってもご愛嬌」 一般特集2：「干支のet cetera」 児童特集：「よみきかせにオススメなえほん」

墨田区立図書館・図書室では、季節や行事に合わせてテーマを決め、資料を集めて展示しています。毎回様々なテーマで沢山の資料が集まる「特集コーナー」、どうぞご利用ください。

ベストリクエスト

(平成23年10月25日現在)

<図書>

順位	書名	著者	予約数
1	謎解きはディナーのあとで	東川篤哉著	408
2	麒麟の翼	東野圭吾著	354
3	マスカレード・ホテル	東野圭吾著	351
4	下町ロケット	池井戸潤著	316
5	真夏の方程式	東野圭吾著	303
6	人生がときめく片づけの魔法	近藤麻理恵著	249
7	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎夏海著	236
8	1Q84 - a novel - BOOK3	村上春樹著	199
9	ジェノサイド	高野和明著	190
10	県庁おもてなし課	有川浩著	174

掲載順位以下のベスト・リクエストは、館内OPAC(利用者用検索・予約機)の「ベスト・オーダー」、インターネットの「予約ベスト」でご覧になることができます。



リサイクルブック市を開催しました



10月8日(土)にすみだリサイクルブック市を開催しました。当日は、例年を上回るたくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。皆様にご提供できた資料は、約1万4千2百点です。当日のアンケート調査では、『とても良かった』『ありがたい』等たくさんのお声をいただきました。

これからも、皆様に喜んでいただける図書館事業運営を取り組んでいきます。

本所図書館と

松倉米吉

百年前の明治四十四年十一月一日、墨田区の地域における最初の公立図書館、東京市本所簡易図書館が開館しました。本所区北二葉町十一番（現二葉小学校地）に建設された本所高等小学校内に設置された無料の図書館でした。高等小学校というのは江東小学校と音が同じなので地元では二葉高等小学校の図書館ともいったようです。

当初、市内十五区に日比谷図書館級の図書館を建設するという構想でしたが、明治四十二年に深川図書館を建設して以降、財政事情が悪化したため、東京市は小学校の空き教室を利用して小規模図書館を開設することにしたのです。開館してほぼ一年経った大正元年の蔵書数はたったの二千冊足らず。ところが、一冊あたり年平均十六回借りられており、一日九十人の利用者があったところを見ると、本をむさばるように読もうとする読書家が本所にいたのだと実感されます。開館日数は年三百三十二日で夜間は九時まで開館して

いました。日比谷図書館や深川図書館は有料でしたが、簡易図書館は閲覧料、貸出料をとりませんでした。大正二年に名称を東京本所図書館と改めていますが、無料であったことから自由図書館ともいわれました。

この本所図書館の熱心な利用者に、松倉米吉がいます。日露戦争が終結したのが明治三十八年九月、この年、新潟県西頸城郡糸魚川町の小学校に通っていた松倉米吉は親戚の家に預けられていました。父はすでに亡くなり、母は借財のために働き口を探しに単身上京し、本所区北二葉町に住んでいます。米吉は高等小学校を中退しても母に会いたく、数えで十三歳の時に上京します。しかし、母は知らない男と同居しており、学校をあきらめた米吉は二葉町のマルエムメッキ工場（現亀沢二二〇）の職工となって働くことになりました。当時の本所の多くは職工の住む労働者の街でした。

このメッキ工場で知り合った仲間数人と本所の石川啄木になろうと、米吉らは回覧雑誌「青年文壇」をつくります。この雑誌は、アララギの歌人から、本所の連中と一

目置かれる「行路詩社」の前身となります。下町生まれの早川幾忠が仲間になってからは自家製の活版印刷で発行され、本所図書館にも置かれました。それを見て仲間に入った歌人には後のアララギ派の歌人高田浪吉がいます。大正二年、米吉は市販の「文章世界」に投稿を始め、六月号に「椿折る手もとは暗し宵の月」が選ばれ胸に抱くようにして雑誌を買って帰ります。米吉は緑町にあった寿座に脚本を売りにいったこともあるようです。米吉の短歌が初めて掲載されたのは八月号で、「工場を休みし一日図書館に詩集ひらくが悲しかりけり」というものでした。大正六年の作で、「図書館のかんかんと昼の明るさに人人は皆腹たらひて居けむ」というのもあります。早川幾忠によれば、自分たちは腹が減っているのはあたりまえなのに、米吉は一日でも食べないと嘆くのだといっています。幾忠は本所図書館では「自我物語」や「平家物語」、森鷗外の翻訳全集などを読むのが楽しみでした。米吉ら働きながら文学を志すものたちは、みんな無料の図書館を利用して、一つの図書館で読むものが無くなってしまつと、浅草の図書館へというように場所を変えて利

用していました。仕事が終わってから熱心に本を読む彼等を帰るのが忍びなく、館員が十時まで閉館を延長したこともあるといえます。

米吉は大正五年に肺を病んでマルエムメッキ工場を辞めています。肺の病は完治することなく、米吉は、大正八年十一月二十五日、下宿先の東郷理髪店（現石原四二二）の二階で亡くなりました。本所図書館は大正十二年の関東大震災で焼失し、その後、太平一丁目に場所を変えて再開しますが昭和二十年三月十日の空襲により再び焼失してしまいました。（真津志麻記）

*参考

『松倉米吉全集』 行路詩社同人

資料ID: 11186017

『松倉米吉と行路詩社』 早川幾忠

資料ID: 11186023

『冬の歌碑』 吉村康

資料ID: 11096200

『早川幾忠独談録：東京下町の思ひ出』

資料ID: 112284229



墨田区立図書館・図書室 11月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	文化の日 3	4	5
<p>9日(水曜日)の緑図書館の「こうさく会」は『犬のしおりつきブックカバーをつくろう』です。 30日(水曜日)のあずま図書館の「こうさく会」は『クリスマスリースをつくろう』です。 19日(土曜日)のあずま図書館の「半藤一利氏講演会」は、一般向けの行事です。 行事の詳細は、各館に直接お問合せください。</p>			<p>東「おはなしれっしや」10:30～ あ「おはなしのじかん」15:15～</p>		<p>横「おはなしのじかん」15:45～</p>	<p>八「おはなしとあそびのじかん」10:30～ 寺「おはなし会」11:00～ 立「おはなし会」14:00～ 東「おはなしのもり」15:00～ 梅「おはなし会」15:00～</p>
6	7	8	9	10	11	12
	<p>東・梅・横 コミュニティ 図書室休館</p>		<p>八「おひざでえほん」11:00～ 緑「こうさく会」15:15～</p>	<p>緑「小さい子どものためのおはなし会」10:30～</p>	<p>横「おはなしのじかん」15:45～</p>	<p>八「おはなしとあそびのじかん」10:30～ あ「あそびとおはなし会」11:00～ 寺「おはなし会」11:00～ 立「おはなし会」14:00～ 梅「おはなし会」15:00～</p>
13	14	15	16	17	18	19
			<p>あ「おはなしのじかん」15:15～ 緑「おはなしのへや」15:15～</p>	<p>館内整理日 全館休館</p>	<p>横「おはなしのじかん」15:45～</p> 	<p>八「おはなしとあそびのじかん」10:30～ あ「半藤一利氏講演会」14:00～ 立「おはなし会」14:00～ 梅「おはなし会」15:00～</p>
20	21	22	23	24	25	26
<p>あ「小さい子どものためのおはなし会」11:00～</p>		<p>寺「おひざでえほん」10:30～</p>	<p>勤労感謝の日</p>		<p>横「おはなしのじかん」15:45～</p>	<p>八「おはなしひろば」10:30～ 立「おはなし会」14:00～ 梅「おはなし会」15:00～</p>
27	28	29	30			
			<p>あ「こうさく会」15:15～</p>			

あずま図書館
文花 1-19-1
電話:3612-6048

緑図書館
緑 2-24-5
電話:3631-4621

寺島図書館
東向島 3-34-4
電話:3611-4610

立花図書館
立花 6-8-1-101
電話:3618-2620

八広図書館
八広 5-10-1-104
電話:3616-0846

**東駒形コミュニティ
会館図書室**
東駒形 4-14-1
電話:3623-1141

**梅若橋コミュニティ
会館図書室**
堤通 2-9-1
電話:3616-1101

**横川コミュニティ
会館図書室**
横川 5-9-1
電話:5608-4500

すみだ女性センター
押上 2-12-7-111
電話:5608-1771

<p>【開館時間】 火曜日～土曜日・・・9:00～20:00 日曜日・月曜日・祝日・・・9:00～17:00 コミュニティ会館図書室は、 月曜日の開館時間が9:00～20:00です。</p>	<p>【休館日】 館内整理日《毎月第3木曜日(祝日にあたる場合は翌日)》、年末年始 コミュニティ会館図書室は、毎月第1月曜日も休館日です。</p>
--	--

編集後記 先日、読み聞かせボランティア(経験者向け)1回目の講習会があずま図書館で行われ、学校で読み聞かせをしている方などたくさんの方に参加していただきました。参加者からは、質問がたくさん飛びかったり、必死にメモをとる姿など会場内は非常に熱心な様子でした。子どもたちなど多くの人に本の楽しさを伝え、読書に親しんでもらいたいというボランティアさんの思いに、とても感動しました。子どもを持つ親として、ボランティアさんへの感謝の気持ちとともに、本好きな子どもに成長することを願う私でした・・・(くろ)